

企 画 名 : たらちねβ線核種測定ラボプロジェクト 2015 年度

団 体 名 : NPO いわき放射能市民測定室たらちね

1. 報告要旨

「たらちね」のベータ線核種測定ラボプロジェクトは2015年度で2年を経過しました。ベータ線核種の測定は、設備にかかる経費が多額なこと、分析技術の困難さから国内外の市民レベルで測定が行われることはありませんでした。しかし、実際に測ってみると、身近なところに福島原発事故の影響によるストロンチウム 90 の影響があることがわかりました。庭の土や植物にも含まれ、小さな子どもたちが触る場所にも微量ではありますが、そういう核種が存在することがわかりました。ストロンチウム 90 は骨に取り込まれやすい性質から骨髄などに蓄積され造血機能に被害をもたらすと言われていています。子どもたちへの健康被害と結び付けて考えると、その存在を知らないままでもいいというものではないと思います。事実を知ることから、私たちは次に何をすべきかを決定し進みます。そのためには、この核種の測定は重要なものだと考えています。そして同じベータ線核種であるトリチウムについても同じことが言えます。トリチウムは三重水素で弱いエネルギーを発生しながら水として細胞の奥深くまで入り込み最後にヘリウムにかわります。このトリチウムを取り除く技術は現在確立されておらず、福島原発からの汚染水処理も不可能な状態で海に直接流れ込んでいます。トリチウムの内部被曝は遺伝子にも関わる被害が考えられ、非常に危険なものです。

この原発事故で失ったものは初期被曝による被害だけでなく、現在進行形での追加被害が進行しています。

その現実を認識し、追加の被曝被害を防ぐために「たらちね」では日々研鑽し、測定技術を向上させ子どもたちの健康と未来を守ることに貢献すべく、今後とも努めていきたいと思えます。

※今年度、「たらちね」の測定分析法は「たらちねメソッド」として世界中のみなさまに知られるようになりました。

<http://authors.elsevier.com/a/1SorW3SWWfmbTw>

2. 成果物

1. 「いわき放射能市民測定室 安心して暮らすために測る」 The Big Issue 日本版 Vol.258 (2015.3.)
2. 明石昇二郎「4月からストロンチウム 90 の測定を始めた『たらちね』 食品の安全性を確認し被曝を予防」週刊金曜日 No.1034 (2015.4.3)
3. 「プロメテウスの罠 たらちねの母」1~20 朝日新聞 (2015.5.15~6.3)
4. 「『年間被曝量 20msv でも家に帰れ』は誰がどう決めたのか？」週刊プレイボーイ No.26 (2015.7.25)
5. 天野光、坂本英輝、根本富美子、鈴木薫「食品と環境中ストロンチウム 90 の迅速分析」環境測定研究会ポスター発表
6. 天野光、木村亜衣、鈴木薫「食品と環境中トリチウムの迅速分析」環境測定研究会ポスター発表
7. 「たらちねの海洋調査特集 現場に行って測り続ける」日々の新聞 No.301 (2015.9.15)
8. 「市民測定室だより 海洋調査の結果」日々の新聞 No.302 (2015.9.30)
9. 「市民測定室だより 掃除機のごみの放射能」日々の新聞 No.303 (2015.10.15)
10. Alessia Cerantola 「The mothers who set up a radiation lab」BBC News Magazine (2016.3.16)
11. [Hikaru Amano, Hideaki Sakamoto, Norikatsu Shiga, Kaori Suzuki 「Method for rapid screening analysis of Sr-90 in edible plant samples collected near Fukushima, Japan」Applied Radiation and Isotopes \(Vol.112, June 2016, pp.131-135\)](http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0969804316300135)